

三年

二十一日歸着

十月三日 明治節ヲドシ本城司令官發起ノ許、鶴知村在郷

軍人分會員ト協力其勞力提供ヨリ同村大字加

志越前塚ヲ修築シ忠臣義士ノ靈ヲ慰ム

津、武雄地方へ出張十二月二十一日歸着

十月三日 津、武雄地方へ出張十二月二十一日歸着

工事起工 昭初二年九月七日

(此亦改築に伴う枕木様式以修  
繕工と同時、湯野砲台砲木様式)

工事費 貳千四百八拾圓參錢 (豫算參千圓)

工事主任 陸軍砲兵大尉 小野銀藏

現場監督 陸軍砲兵上等工長 戸次數見

十月三日 親派節制隊等ニ本城砲台砲木様式起工許、師數村民ト

協力同村青年團員及在郷軍人分會員ノ勞力提

供ヨリ草崎、露冠記念碑ヲ建設ス

法越前縣の地味に於ては、本年十一月に於ては、

軍入会會員十對、其數は對者三〇〇、同村大等、

十一月三日  
本城司令官官第十二師團秋季演習參加、爲行橋

及小倉地方へ出張十一月十九日歸着

十一月五日  
本日ヨリ昔二日迄本年度兵器及防禦營造物、檢

査月施行ス

十一月十日  
本城司令官現地戰術及同地理實施、爲福岡、唐

津、武雄地方へ出張十二月三十一日歸着

十二月十日  
大正天皇御一週年祭、午前十時、遙拝式ヲ行ハ

（九月九日）  
（僅て西公達）  
（以修）  
（施在様式）

見 藏

二月十日  
總兵節、本城司令官官發起、許り、村敷村民ト

協力同村青年團員及在郷軍人分會員、勞力提

供ヨリ、草崎、露冠記念碑、ヲ建設ス

三年

	<p>法越商社の事業に資する為、本年十一月に於て、</p>
	<p>軍人分會員十計、其數以對、其、同村、</p>
<p>十一月三日</p>	<p>本城司令官、第十師團、秋季演習、自參加、為、行、橋、</p>
<p>十一月八日</p>	<p>及小倉地方へ出張、十一月十九日歸着、</p>
<p>十一月十日</p>	<p>本日ヨリ、青二日迄、本年度兵器及防禦營造物、檢、</p>
	<p>査月施行ス、</p>
<p>十一月十一日</p>	<p>本城司令官現地戰術及同地理實施、為、福岡、唐、</p>
<p>十一月十五日</p>	<p>津、武雄地方へ出張、十二月二日歸着、</p>
<p>十一月二十日</p>	<p>高濱、濱、川、過、津、奈、符、年、前、今、時、</p>
	<p>工事起工 昭初三年九月七日 (此、示、隊、等、件、の、砲、架、等、を、以、修、 但、志、を、計、劃、定、演、習、砲、架、砲、架、等、)</p>
	<p>工事費 貳千四百八拾圓參錢 (豫算參十圓)</p>
	<p>工事主任 陸軍砲兵大尉 小野銀藏</p>
	<p>現場監督 陸軍砲兵上等工長 戸次數見</p>
<p>二月十日</p>	<p>紀念節ヲトシ本城司令官、發起、許、以、敷、村民ト</p>
	<p>協力同村青年團員及在郷軍人分會員、勞力提</p>
	<p>供ニヨリ、草崎、露冠記念碑ヲ建設ス</p>

三年

法越前縣々新築之役百五十人働入事

軍入公會員十計其數以對其日同村大等

十一月八日

本城司令官第十二師團秋季演習自參加ノ為行橋

及小倉地方へ出張十一月十九日歸省

十一月六日

本日ヨリ青二日迄本年度兵器及防禦管造物ノ檢

査ヲ施行ス

十一月十日

本城司令官現地戰術及同地理實施ノ為福岡唐

津武雄地方へ出張十二月二十一日歸着

十一月十日

大分縣演習週時參事付予前平時送詳

工事起工

昭初三年九月七日

(此亦以第... 昭初三年九月七日)

新式同林青... 團員... 演習... 檢査...

新式同林青... 團員... 演習... 檢査...

二月十日

高濱演習砲臺改築竣工 其ノ方法左ノ如シ

二月十九日

高濱演習砲臺改築竣工 其ノ方法左ノ如シ

起工 昭初二年十月一日(昭初三年九月日案取不部長梅井榮之丞)

工費 七千參百圓(材料費三二六〇圓工費力費四三九五圓)

工事主任 陸軍工兵少佐 鈴木長四郎

現場監督 陸軍上兵上等工長 萩原榮

改築ノ概要 二十八榴彈砲之床四門十年制定新

式砲床ニ改築

露天觀測所及小隊長ノ位置ヲ新築

三月三日 本城司令官業務視察ノ爲臺岐及下關要塞司令

部ニ出張 三月八日歸着

三月十日 對馬要塞司令官陸軍少將 本城嘉守

待命被仰付

陸軍少將 瀧原三郎

補對馬要塞司令官 (三月八日附)

三月十三日

故久宮祐子内親王殿下御葬儀ニ付午後二時二十分

遙拜式ヲ施行シ哀悼ノ意ヲ表ス

三月十七日

司令官龍原少將要塞地帯内地理實査、爲副

官ヲ隨へ上縣地方へ出張、陸路、仁位、仁田、佐須奈

鰯浦、比田勝、琴、曾ヲ經テ仁位ニ到リ三月三十一日帰着

工兵業務中、鷄知尾崎間軍道今里地区ノ新營工事

事三月下旬竣工ス

四月二十日

多功嶺砲台ニ四種加農火砲迷彩ヲ賜初二年十月

制定セラレタル火砲迷彩要領ニヨリ實施ス

四月二十六日

新任師團長金山中將初度巡視ノ爲来廳

五月二十二日

司令官龍原少將要塞地帯内地理實査、爲參謀ヲ

隨へ佐須、豆敷、久田地方へ出張五月二十四日歸着

七月四日

師團長金山中將一行隨時檢閲、爲来廳

七月十五日 築城本部長 山内中將 奉 鑒 全日ヨリ 四日間ニ 亘リ 當

要塞防禦營造物ノ 檢査ヲ 施行セラル

八月二日 龍ノ 崎 砲台 砲塔 保管 依託ノ 爲 受授ヲ 行フ 受授

者 左ノ 如シ

兵器本廠 備砲班

陸軍砲兵少佐 田中 峯一 郎

同 佐々木 博

對馬要塞司令部

陸軍砲兵大尉 眞山 勝

陸軍砲兵上等士長 戸次 數見

八月二十日 上見坂 堡 呈 格納 兵器 中 九 冊 加 農 前 車 及 火 砲 屬 品

全部 大道 彈 廠ニ 輕 砲 火 具 一 組ヲ 砲 兵 部 倉 庫

ニ 運 搬 格納 替ヲ 實 施 八 月 三 十 三 日 終 了

九月一日 御大典前不逞ノ徒ニ對スル警戒上九月一日ヨリ雨天奈禪

藥本庫ニ重砲兵大隊ヨリ分遣衛兵(長上等兵以下四名)

週間服務)ヲ配置ス 十月八日撤退ス

九月十四日 九月十四日ヨリ三日間重砲兵大隊尾崎地区ニ於テ戰備

計畫ニ基キ戰備演習ヲ實施ス 同大隊ニ貸與セシ

兵器左ノ如シ

檜岳砲台二十八吋四門及觀測具全部

郷山砲台備付觀測具全部

多功崎砲台備付砲台鏡一個

九月十七日 重砲兵大隊檜岳砲台ニ於テ二十八吋榴彈砲 射撃

ヲ實施ス

九月十八日 九月十五日以来ノ降雨ハ十八日午後七時三十分頃ヨリ豪雨

トナリ午後土時ニ至ル間 前古未曾有ノ大豪雨トナレリ



嚴原測候所ハ調査ニ依リ同所創立「明治十九年以來ノ  
 豪雨ニシテ三時同余ノ降雨量一坪面三尺六斗六升ナリト」  
 時恰モ満潮時ナリシ爲メ鷄知川ノ河水流出途杜  
 絶シ諸所ニ泥濘シ鷄知所内ノ如キ水深胸ヲ没ス  
 ルニ至ル午後十時過干潮ニ向ヒト降雨雨量減退  
 セシ爲メ大事ニ至ラサリシモ土地建物ノ損害相當大ニシ  
 テ復旧ヲ要スルモノ甚ナカラス其ノ概要左ノ如シ  
 一砲兵部倉庫西北構外ヨリ雨水河ノ如ク流入シ水深  
 五天ニ及ヒ爲メ各倉庫浸水シ床上ニ尺ニ及ヒテ以テ  
 直ニ職工ヲ召集シ兵力ヲ應援ヲ得ケルモ夜間ニシテ  
 且燈火ヲリ遂ニ何等應急處置ヲ行フ能ハスレ  
 テ兵器ニ多大ノ損害(見積千七百圓余)ヲ蒙ルニ  
 至リ尚各庫共床内一面ニ泥土約二寸推積シアリキ

2. 防禦營造物ノ被害

各所交通路並構築物多ク被害ヲ受テ其ノ  
數モ大ニ其ノ尾崎間ノ軍道ニシテ損害ノ見  
積約二千圓ナリ

十月三日

御眞影奉還式ヲ施行ス其次第左ノ如シ

1. 午後二時下以上御眞影ヲ奉拜

2. 午後三時十分大隊裏門前ニ敎團列奉還ス但陸士官以

上ニ其ノ後高濱港ニ於テ奉還ス

今般奉還セシ御眞影左ノ如シ

明治天皇御眞影

二葉

昭憲白皇太后御眞影

二葉

大正天皇御眞影

一葉

大白天皇皇太子時代御眞影

一葉

皇太后陛下御眞影

一葉

今上陛下皇太子御時代御眞影一葉

重砲兵大隊副官小原中尉司令部及大隊ヨリ奉

還タル御眞影全部ヲ奉持シ午後五時高濱港

出帆五日午後一時ニ於テ師團司令部ニ於テ奉還ス

十月十九日

司令官藤原少將將校現地戰術統裁ノ爲福岡

地方へ引續キ第十二師團秋季演習參加ノ爲久

留米地方ニ出張十一月五日歸リ着

十月二十日

司令部將校一同現地戰術ノ爲福岡地方へ出張

十月三十日

司令官副官同行師團司令部ニ出頭レ天皇陛下

皇太后陛下ノ御眞影ヲ拜戴

十月五日

先般奉戴レ御眞影奉戴式ヲ施行ス

其次第左ノ如シ

1. 午前十時日向橋ヲ右翼トシ司令部大隊病院憲  
兵隊ノ順ニ儀仗隊ハ司令部ハ右翼一百米ヲ隔テ、整  
列奉迎ス

2. 御眞影ハ要塞副官之ヲ捧持シ司令官大隊  
長倍列、警察署前ニ於テ自働車ヨリ下車  
憲兵上等兵先導シ司令官大隊長儀仗隊ノ  
順ニ隨從重砲兵大隊將校集會所ニ到着ス  
3. 午前十時三十分司令部職員一同表門ニ整列奉  
迎シ十時三十分ヨリ御眞影ヲ奉拜ス天隊ハ奉  
戴式ヲ施行ス

十月六日 司令官龍原少將御大禮諸儀式並大觀兵式  
参列、爲京都及東京へ出張十二月七日帰着

十月八日 御大禮記念トシテ司令部龍原少將發起ノ許野敷村  
民ト協力同村青年團員及在郷軍人分會員ノ勞  
力提供ヨリ城山八幡祠境内ニ金田城趾紀念  
碑ヲ建設ス

人午前十時日向橋ヲ右翼トシ司令部大隊病院憲  
兵隊ノ順ニ儀仗隊ハ司令部ハ右翼百米ヲ隔テ、整  
列奉迎ス

2. 御真影ハ要塞副官之ヲ捧持シ司令官大隊  
長偕列、警察署前ニ於テ自働車ヨリ下車  
憲兵上等兵先導シ司令官大隊長儀仗隊ノ  
順ニ隨從重砲兵大隊將校集會所ニ到リ着ス  
3. 午前十時三十分司令部職員一同表門ニ整列奉

迎奉ス  
御真影ハ  
司令官  
大隊長  
儀仗隊  
重砲兵  
大隊將  
校集會  
所ニ到  
リ着ス  
司令部  
職員一  
同表門  
ニ整列  
奉迎奉  
ス

上月十日

午後一時ヨリ御眞影奉拜勅諭奉讀式ヲ施行

午後二時五十分庭球場ニ京都方向ニ面シテ敷正列

鈴木少佐ノ発唱ニ伴ヒ萬歳三唱

御大禮ニ付尤記ノ白ハ一般ニ休日ノ旨ヲ達セラレ

十月十日 即位禮

十月十四日 大嘗祭

十月十六日 大饗第一日ノ儀

十月十六日 大饗第一日ノ儀ニ付判任官ニ等以上ニ饗食饌ヲ賜ハリ

陸軍現役下士(軍曹伍長同相當官)判任文官同特

遇者兵卒及諸兵卒ニ對シ特ニ聖旨ヲ以テ酒饌料

ヲ下賜セラレ

同日正午大隊將校集會所ニ於テ饗食饌ヲ賜ハル

十月二十日 工兵業務中四月ヨリ十月ニ至ル間ノ主要事項尤ノ如シ